

岡山大学

歯学部

OKAYAMA UNIVERSITY
DENTAL SCHOOL

● 歯学科



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2024年度 学部案内



目次

岡山大学歯学部案内

2024

| | |
|-------------|----|
| 学部長挨拶 | 3 |
| 沿革 | 4 |
| アドミッションポリシー | 5 |
| カリキュラム | 6 |
| グローバル教育 | 9 |
| 卒業後の進路 | |
| 卒後臨床研修センター | 10 |
| 大学院 | 11 |
| 活躍する先輩たち | 12 |
| 研究室紹介 | 13 |
| サークル紹介 | 16 |
| 交通アクセス | 17 |
| わたしの岡大ライフ | 18 |
| キャンパス紹介 | 20 |
| 病院紹介 | 22 |

地域社会・ 世界を俯瞰する

地域から世界に至るまで、
多様な場面で活躍できる
「実践的歯科医療人」の育成

歯学部長
大原 直也



岡山大学は、長い歴史を有し10学部からなる総合大学です。歯学部は、1979年（昭和54年）に国立大学としては最も新しい歯学部として設置されました。医療系では、保健学系の学科を含む医学部、歯学部、薬学部が揃っており、さらに自然科学から人文、社会科学的分野までの幅広い学系が存在し、総合大学の特性を生かした文理融合教育、研究を実践しています。入学試験では前期一般入試の他に学校推薦型入試（既卒者を含む）、外国人留学生入試、国際バカロレア入試、学士入試（2年次編入）、など多様な入試制度を活用し、個性を有する多彩な人材を求めています。

歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視し、教育・研究を通して世界最高水準の歯科人材を育成することを教育目的としています。地域社会に貢献できる歯科医師を養成することはもちろんですが、活躍の場を大学教員、研究職、行政職、さらに海外に広げていける人材の養成を行っています。このようなグローバルな活動力と連携力を有した「実践的歯科医療人」の育成を目指し、日々教育カリキュラムの改革・改善を行っています。新時代の歯科医師に必要な現場力、実践力のために課題解決型学習やアクティブラーニングを推進し、地域の歯科医師会とも有機的に連携しながら新たな教育カリキュラムを展開しています。また、高度な歯科医療の提供、研究、教育のために、医学部、薬学部、岡山大学病院との密接な連携により、多職種連携や医療支援、周術期管理などを強化し、超高齢社会に対応できる広い視野を有する歯科医師育成のため、さまざまな取り組みを続けています。

海外大学とのネットワークも重視しています。全国に先駆けて開始された短期海外留学制度（ODAPUS）は20年の歴史を有し、これまでに200名を超える学生が海外協定校に留学を果たしています。学年の60%の学生が派遣された年もありました。夏季休業や春季休業を利用できる体制も整備しています。このプログラムでは海外からも多くの留学生を受入れており、多様な国々の留学生と直にふれあうことで、グローバルな活動力と実践力を身につけることが出来ます。COVID-19の影響により2年間は派遣と受け入れができませんでしたが、2022年には再開しました。

歯学部卒業後には、高度な歯科医療を学んで臨床専門医を目指す大学院も用意しています。2023年4月に改組し、学位（博士）と専門医の取得を同時に目指す臨床を重視したプログラムを強化しました。研究を極めるプログラムも用意しています。さらにその先の生涯教育にも取り組んでいます。この教育におけるシームレス化、また地域社会や海外とのシームレス化のために、歯学部棟の機能改修を行っています。2024年3月には完了し、新しい学びの場となる予定です。

岡山大学歯学部の卒業生は、国際的な医療基準に立脚した知識、技術と医療態度を身につけ、高い評価を得て活躍しています。皆さんも岡山大学歯学部で学び、医療の分野で世界を牽引する実践力を身につけ、地域のみならず世界で活躍する歯科医療人を目指しましょう。



明日の医療における歯科医療

全身と心の健康に満ちた生活を支えるための口腔機能を追求する
 歯科医師や研究者を育成します。

沿革

学部

- 昭和 52 年 4 月 歯学部創設準備室設置
- 昭和 54 年 10 月 岡山大学歯学部設置
- 昭和 55 年 4 月 歯学部第一期生受入(入学定員 80 人)
- 昭和 56 年 12 月 歯学部校舎および附属病院棟新営工事竣工
- 昭和 57 年 4 月 歯学部専門課程の授業開始
- 昭和 59 年 4 月 18 講座設置完了
- 昭和 63 年 4 月 入学定員 60 人となる/大学院歯学研究科設置
- 平成 12 年 4 月 入学定員 55 人となる
- 平成 13 年 4 月 大学院医歯学総合研究科(博士課程)を設置
- 平成 14 年 4 月 歯学部学士入学第一期生受入(3 年次編入; 入学定員 5 人)
- 平成 15 年 4 月 大学院医歯学総合研究科(修士課程)を設置
- 平成 16 年 4 月 国立大学法人岡山大学へ移行
- 平成 17 年 4 月 大学院医歯薬学総合研究科(博士課程・修士課程)を設置
- 平成 23 年 4 月 入学定員 48 人となる
- 平成 26 年 6 月 先端領域研究センターを設立
- 平成 26 年 8 月 国際バカロレア入試を開始
- 平成 27 年 4 月 歯学教育・国際交流推進センターを設置
- 平成 28 年 4 月 歯学部学士入学編入年次変更(2 年次編入)
- 平成 29 年 9 月 応用情報歯学分野を設置
- 令和 5 年 4 月 大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)を改組

病院

- 昭和 55 年 4 月 歯学部附属病院創設準備室設置
- 昭和 57 年 4 月 附属病院棟新営工事竣工、歯学部附属病院設置、診療開始(7 科、20 病床)
- 昭和 58 年 4 月 診療科増加(9 科)、病床数増床(40 床)
- 昭和 59 年 4 月 診療科増加(10 科)
- 平成 5 年 4 月 診療科増加(11 科)
- 平成 7 年 11 月 特殊歯科総合治療部(院内措置)を設置
- 平成 13 年 4 月 特殊歯科総合治療部(省令措置)および地域医療支援室(院内措置)を設置
- 平成 14 年 2 月 口腔インプラント外来および顎関節症・口腔顔面痛み外来を設置
- 平成 14 年 12 月 卒後臨床研修センターを設置(院内措置)
- 平成 15 年 4 月 審美歯科外来を設置
- 平成 15 年 10 月 歯学部附属病院と医学部附属病院を統合、医学部・歯学部附属病院を設置
- 平成 16 年 4 月 国立大学法人岡山大学へ移行
- 平成 19 年 1 月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称(医療法上)
- 平成 21 年 4 月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称(組織上)
- 平成 22 年 12 月 特殊歯科総合治療部を廃止、スペシャルニーズ歯科センターと医療支援歯科治療部を設置
- 平成 25 年 1 月 口腔検査・診断センターを設置
- 平成 27 年 5 月 口唇裂・口蓋裂総合治療センターを設置
- 平成 29 年 5 月 侵襲性歯周炎センターを設置
- 平成 30 年 10 月 デンタルインプラントセンターを設置
- 令和 3 年 3 月 歯科系診療科を 4 診療科(歯科、口腔外科、矯正歯科、小児歯科)に改編し、歯科の中に 8 歯科系部門(総合歯科部門、保存歯科部門、歯周科部門、口腔インプラント科部門、補綴歯科部門、予防歯科部門、歯科放射線科部門、歯科麻酔科部門)、口腔外科の中に 2 歯科系部門(顎口腔再建外科部門、口腔顎顔面外科部門)を設置
- 令和 5 年 3 月 お口の健康管理センターを設置



を創出しよう!



アドミッションポリシー

教育内容 ・ 特色

歯学部の使命は良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究し、発展させることです。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文、社会科学的な分野の教育、研究も行われています。文系・理系に関わらず、さまざまな特性をもつ学生が活躍できる学部です。

求める人材

次のような熱意のある人を求めています。

1. 歯学教育を受けるに十分な基礎学力を持っている人
2. 他人を思いやる優しさの高い倫理観を持っている人
3. 何事にも意欲的に取り組むことができる人
4. 生命科学・健康科学に強い好奇心と探究心を持っている人
5. 歯科医師として国民の健康、福祉・介護、さらには国際医療に貢献したいという明瞭な目的意識を持っている人

【入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと】

高校では特定の科目に偏ることなく、授業に意欲的に取り組んでください。知識を習得するだけでなく、様々な社会の問題に関心を持ち、そして自分の考えをもって行動する姿勢は、歯学分野において社会に貢献するための基礎となる全人的な能力の育成に必要不可欠なものです。

※歯学部のアドミッション、ディプロマ、カリキュラムの各ポリシーは歯学部ホームページをご覧ください。

https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html

※推薦型選抜の対象者は、高校卒業見込み、ならびに卒業後2年以内の方となります。
各高校の推薦人数は4名までです。



カリキュラム

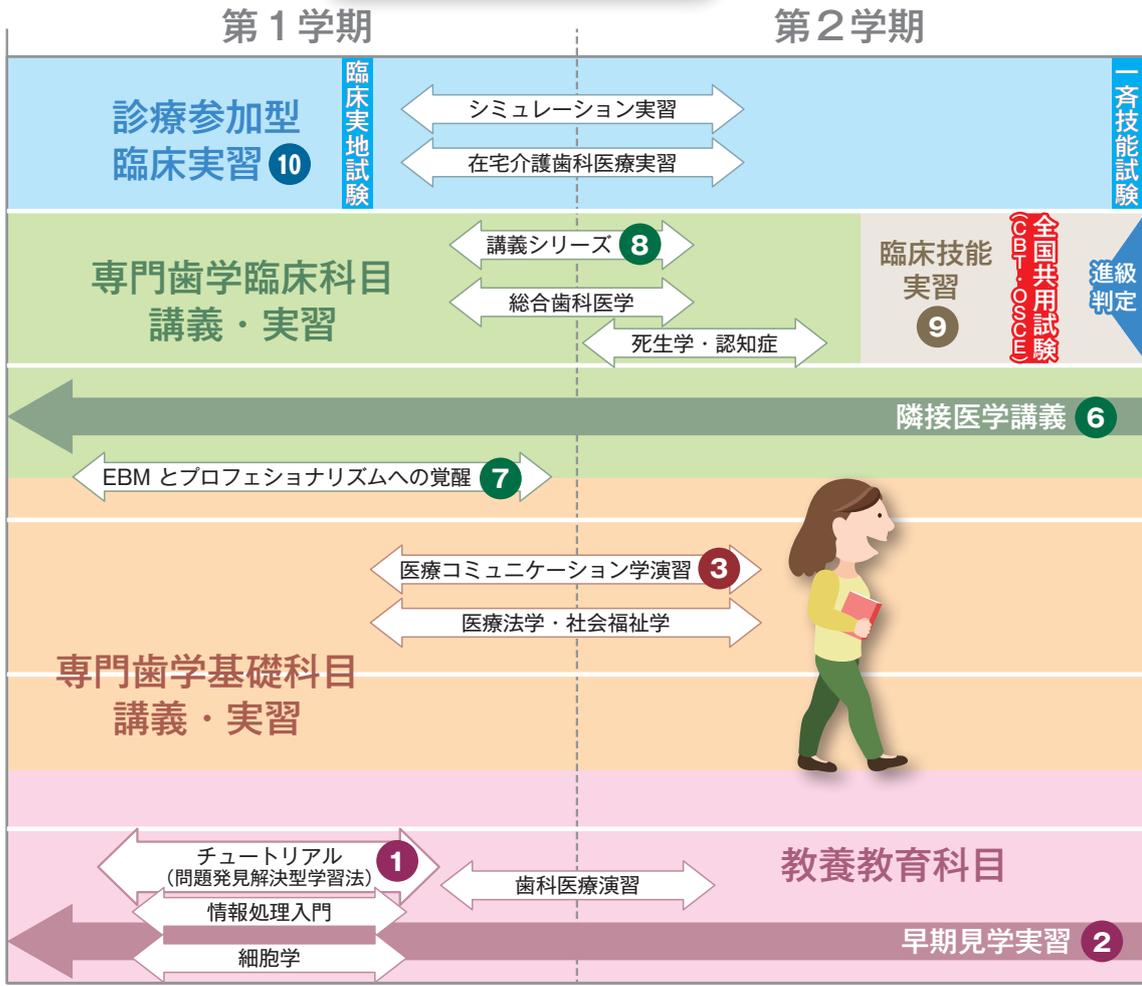
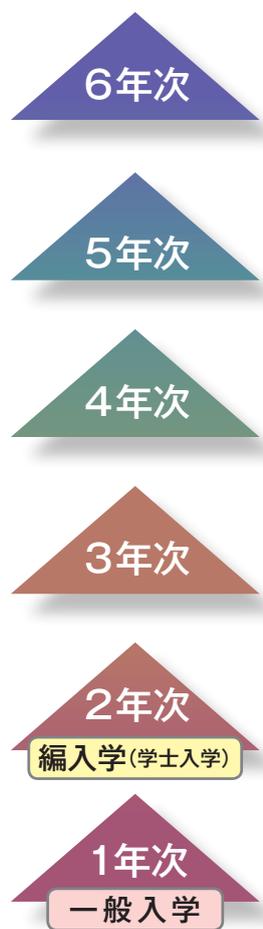
世界に通じる全人的医療人を育成します。



7 プロフェッショナルとして臨床事実に基づく歯科医療を行うための基礎を修得します。

8 講義シリーズ（生活習慣病と口腔・急性期医療・在宅介護医療）
超高齢社会に対応するための課題解決型講義。e-Learning でいつでも繰り返し学ぶことができます。

9 マネキンを患者と想定して、様々な歯科臨床技術を習得します。



1 テーマに沿った話題について、グループごとに討論、発表することで、自己学習能力を習得します。

2 新生者が医療施設の見学や体験実習、患者さんのエスコート実習を行い、医療人としての自覚を持ちます。

3 対人コミュニケーション実習で得た知識やスキルを活用して、各症例に沿った問題を発見し、グループ討論を行います。

第116回(令和4年度)
 歯科医師国家試験
 合格率70.4%
 (全国平均77.3%)

10年平均86.8%



10



実際の臨床の現場にて、教員の指導のもとで臨床技能と態度を養います。

11

臨床実習を終え、これまでの歯学教育内容を整理し、歯科医師国家試験のための準備を行います。

第3学期

第4学期

総合歯学演習 11

診療参加型 臨床実習 10

実践歯科医療学

シミュレーション実習

在宅介護歯科医療実習

卒業
判定

臨床研修

大学院進学

リカレント教育

生涯学習

進級
判定

講義シリーズ 8

自由研究演習(研究室配属) 4

歯学国際交流演習(ODAPUS) 5

解剖学実習

専門歯学基礎科目 講義・実習

進級
判定

進級
判定

モノ・コトデザイン演習

人体発生学入門

進級
判定



※時刻表は
歯学部ホームページを
参照してください。

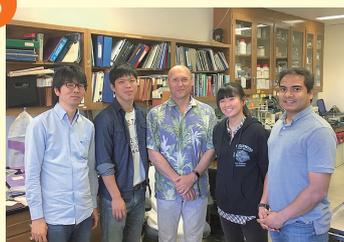
https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/koho/2023_TimeTable.pdf

4



各研究分野において学生が自ら実験研究に参画し、科学的視点を身につけます。

5



海外の大学の聴講生として短期留学し、広い視野を身につけます。

6

岡山大学医学部から講師を招き、臨床医学について学びます。



※詳細および編入学(学士入学)については歯学部ホームページを参照してください。<https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

カリキュラム

歯学部学士教育課程の構築と独自の専門教育

■ 専門教育 (科目の構成)

- ▶モデル・コア・カリキュラム準拠
(全国共通能力基準をクリア) …………… 60～70%
- ▶独自のカリキュラム (多彩な能力を修得) …………… 30～40%

■ オンライン授業 (新型コロナウイルス感染症にも対応)

- ▶オンデマンドおよびリアルタイム授業

■ 独自のカリキュラム

- 1 早期見学実習 1年次 (図1)
- 2 チュートリアル (問題発見解決型学習法) 1年次 (図2)
- 3 自由研究演習 (研究室配属) または歯学国際交流演習 (ODAPUS) 3年次
- 4 医療コミュニケーション学演習 3年次
- 5 EBM とプロフェッショナリズムへの覚醒 4年次
- 6 在宅介護歯科医療・シミュレーション実習 5・6年次 (図3)
- 7 診療参加型臨床実習 5・6年次 (図4)



図1 早期見学実習



図2 チュートリアル



図3 シミュレーション実習



図4 診療参加型臨床実習

学士課程教育の構築：進化しつづけるカリキュラム

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針) の設定と見直し

カリキュラムポリシー・カリキュラムマップに基づく体系的カリキュラム編成

多様化する社会のニーズに即応した教育内容

アクティブ・ラーニングの積極的応用

60分授業化と単位の実質化促進

研究マインド育成プログラムの設定

グローバル人材育成科目の導入

各ポリシー等は、https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html を参照してください。

自由研究演習 (研究室配属)

森本 一圭 4年次生 洛星高等学校 (京都) 出身



私は自由研究演習において口腔形態学分野にお世話になりました。今回の配属では「オキサ酸添加 HEK293細胞における Protein phosphatase 2A と O-GlcNAc transferase の発現と局在」という題で研究・発表をさせていただきました。

私はこれまで研究に触れたことはほとんどなく、心配もありました。しかし先生方が熱心に教えてくださり、最初は不得意だった実験器具の扱いや足りていなかった研究テーマに対する知識も次第に理解が深まり、2か月間楽しみながら実験に取り組むことができました。

研究には、疑問を見つけ、考え、作業をし、さらに他の人に説明するという一連の過程があり、基礎科目の授業とは異なった魅力があります。もちろん実験がうまくいかないといった挫折もありますが、その失敗から何を学んで次に生かすか考えることも研究の面白さの一つであると感じました。

研究に興味のある学生はもちろん、臨床を目指している、またはまだ将来を決めていない学生にとっても視野の広がる大変良い機会になると思います。ぜひ参加してみてください。

グローバル教育



ODAPUS

ODAPUSとはOkayama University Dental School Short-Term-Study-Abroad Program For Undergraduate Studentsの略称で、1～5年次生が、海外の大学に聴講生として参加できる短期留学制度です。岡山大学特有の制度で、派遣大学から受講証明書を取得することで単位として認定される選択科目です。現在は、世界各国の有力大学歯学部への留学が可能となっています。



木村 文乃 4年次生
山陽女子高等学校出身

私は、2023年10月から2ヵ月間南米チリの首都にあるフィステラエ大学に留学させていただきました。学内の雰囲気はとても明るく、自由でのびのびとした校風が印象的でした。低学年からかなり実習の授業が多く、私たちがマネキンを使って歯を削ったり埋めたり磨いたりなど、毎日が充実していました。岡山大学では高学年で学ぶことをチリで先取りすることができたので、貴重な経験となりました。お昼休みには友人と一緒にランチを食べたり、休日には観光地やショッピングにも連れて行ってもらいました。また、数日間学校のおやすみをいただいてチリ北部のアタカマや南部のトーレスデバイネに旅行に行き現地の文化や風土を感じ、歯科の学び以外にも経験値を増やすことができたと感じています。

皆さんもぜひODAPUSで海外の歯科医療を学びに行ってみませんか。



海外研究者によるODAPUSオンラインセミナーを開催

世界的なCOVID-19の流行の煽りを受け、ODAPUSによる国際的な人的交流は一旦停止しました。この様な状況下においても、国際マインド維持や国際化推進を継続させるため、リアルタイムのWebセミナーを開催しました。2023年からODAPUSは少しずつ再開しておりますが、引き続きWebセミナーを開催しております。これまでに、オハイオ州立大学、ハーバード大学、インドネシア・ハサヌデン大学、メリーランド大学、ウィスコンシン州立大学マディソン校、ルイビル大学などで活躍されている多くの海外研究者とのリアルタイムオンライン交流を行っています。

歯学部学生が日本代表として One Young World 2022 に参加

歯学部5年の棚井あいらさんが、英国・マンチェスター市で2022年9月5日～8日に開催された「次世代リーダー・グローバル・サミット One Young World 2022」に日本代表団の一員として現地参加しました。

開会式ではアイルランド初の女性大統領であるメアリー・ロビンソン氏やサセックス公爵夫人メーガン妃らが登壇、ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス博士からはビデオメッセージが寄せられ、参加者に対して「あなた方は未来のリーダーであるだけでなく、今、世界が必要としているリーダーなのです」との強いメッセージが発信されました。棚井さんは、全体セッションやワークショップ、ネットワーキング(交流会)などに参加。国連の持続可能な開発目標(SDGs)を枠組みとしながら、気候変動から戦争と平和、教育、人権、ジェンダー、リーダーシップ、グローバルビジネスなど、多岐にわたるディスカッションを行いました。

また、今大会ではマンチェスター会場と岡山を含む世界4か所の会場とを繋いでのライブ中継が実現し、岡山の高校生、大学生をはじめとするおよそ100人が将来の夢やジェンダーマイノリティが抱える課題等について意見交換を行い、世界とのつながりを体感する時間となりました。



One Young World 詳細 (岡山大学ホームページ)
<https://oneyoungworld.intl.okayama-u.ac.jp/newsevent/>

歯学部棟が新しく生まれ変わります。

歯学部の学びの中心である歯学部校舎と大学病院歯科系診療部門が入る歯学部棟は1981年12月に完成し、約40年が経ちました。この間に歯学部や大学院の教育、また歯科の診療は大きく変貌しており、さらに変化しようとしています。これからの時代に即した歯学教育・研究・臨床を行うにふさわしい「オールタイムシームレスな教育環境」を構築するため、歯学部棟の機能改修工事を行っています。II期工事が始まりました。来年春に新しい歯学部棟が完成予定です。



令和5年3月 病院部分完成
令和6年3月 全館リニューアルオープン(予定)

オールタイムシームレスな教育環境

- ▶ 歯学部、卒後臨床研修、大学院、生涯教育(リカレント教育)の切れ目のない学び
- ▶ 海外教育研究機関とのつながりの強化
- ▶ 地域社会とのつながりの強化
- ▶ 教育、研究、臨床のつながりの強化
- ▶ ICT時代の歯科教育の実践

卒業後の進路

研修医
センター

充実した歯科医師卒後臨床研修の提供

卒後臨床研修センター 歯科研修部門



卒後臨床研修センター歯科研修部門長

山本 直史 教授

兵庫県立長田高等学校 昭和63年卒業

歯学部を卒業し、歯科医師国家試験に合格すると歯科医師免許を取得することができます。さらに、歯科医師として活躍するためには、1年以上の臨床研修を受けることが義務付けられています。岡山大学病院の卒後臨床研修センター・歯科研修部門では、1年間の充実した研修を行うことが可能な様々なプログラムを提供しています。

卒後臨床研修の目標は、医療人である歯科医師にとって必要な態度、知識および技能を習得し、生涯研修の第一歩とすることです。当センターでの研修は、研修医自身が主治医としてできるだけ多くの患者を担当することによって、患者背景や全身状態も考慮に入れた総合的な診断能力と、基本的な治療能力を身につけることを方針としています。研修内容は、歯科医療の基礎となる一般歯科治療の通年研修に加えて、口腔外科や矯正歯科などの専門外来や、医科と連携した医療支援歯科治療部など大学病院ならではの多様な研修があります。また、研修終了後に、専門医や博士号取得コースへ進むことも可能です。

卒後臨床研修は、その後のキャリア形成に非常に重要な経験です。若手歯科医師の皆さんのチャレンジを我々がしっかり後押しすることをお約束します。



OB・OGは今…



藤田 貴彦 弁護士(愛媛県)
(平成17年卒業) (愛媛県立西条高等学校 平成11年卒)

歯科医師として数年間勤務した後に弁護士になりました。現在は臨床からは離れていますが、他の弁護士にはない特徴である歯科医師としての臨床経験や知識を生かして、歯科医療過誤などの歯科医師からの相談も主な取扱業務になっています。卒業後は臨床や研究以外にも活躍できる場が無数にありますので、学生の皆様が多方面でご活躍になられることを願っています。



大学院

医・歯・薬の3学系が連携して次世代の健康科学を開拓する

大学院 医歯薬学総合研究科



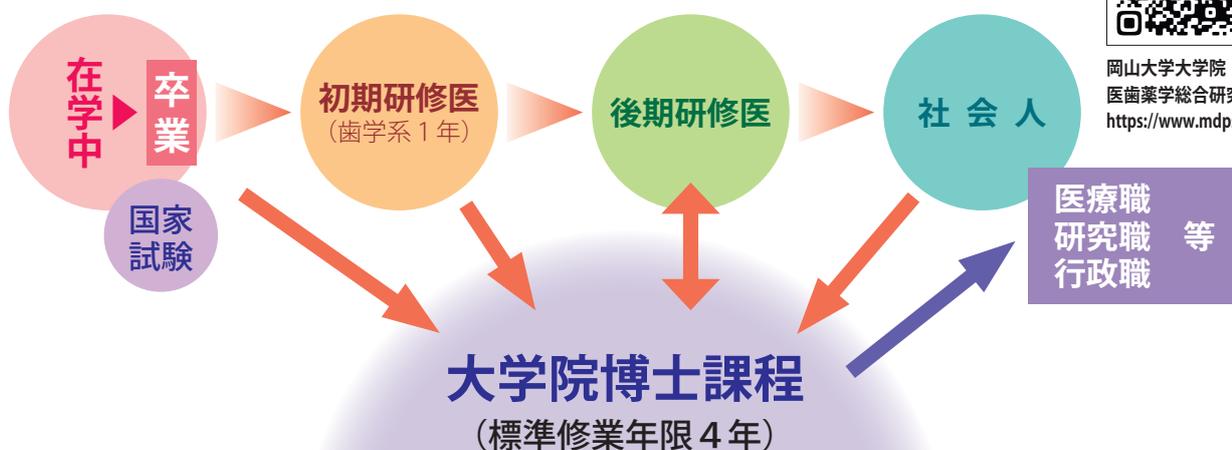
大学院では、海外からの留学生、あらゆる学部の卒業生、社会人として活躍中の人々が、今までの歯科医学の枠を超えた斬新な視点から日夜研究を進め、健康科学の明日を導く旗手として世界中の注目を浴びています。

令和5年度からは専攻を一本化し、新たな学位プログラムが始動しています。

多様化する社会の要請に応える工夫された課程



岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科ホームページ
<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/>



歯学学位プログラム

臨床専門医養成

- 文部科学省採択事業「医療系大学院高度専門医養成コース」が母体
- 文部科学省採択事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」を推進
- 「臨床研究デザインワークショップ」などの特色ある研究教育カリキュラム

各自の研究実施計画に基づいた長期履修制度や優れた研究業績による早期修了制度があります

医歯薬学専攻

授与される学位の種類

博士 (歯学)
博士 (学術)

ボーダレス歯学研究者養成プログラム

国際的学際的研究者養成

- 文部科学省国費外国人留学生を優先配置する特別プログラム「ASEAN中核医療系大学と連携する口腔器官再生・再建・統合大学院特別コース」
- O-NECUS特別入試による国際教育
- 「医歯薬学プレゼンテーションプラクティス」など特色ある研究教育カリキュラム

—臨床技術や臨床決断能力を教育し臨床を真剣に科学する—

歯学学位プログラムは、各学会の専門医制度と同調しながら、学生の臨床能力（知識、技術、態度）を博士（歯学）にふさわしいレベルにまで向上させ、国民が求める医療の質を担保することを目的としたプログラムです。臨床を科学する本プログラムでは、臨床の現場に立ち、臨床現場における問題点を見出し、それらを解決するプロセスを学ぶことで、臨床エビデンスをひもとく方法を習得します。

現在、多くの大学院生が本プログラムで学び、高度な技術を持った専門医を目指しています。日本では歯科臨床専門医のニーズが日に日に高まっています。

ボーダレス歯学研究者プログラムは、国境（国のボーダー）を乗り越えて活躍できる研究者を養成するため、我が国やアジアを中心に若き頭脳を結集し、歯学のパラダイム（学問的ボーダー）を超えた発展をもたらす人材を養成することを目的に設置されました。

すでに中国、ベトナム、インドなどから集結した大学院生が、国内からの院生とともに未来の歯学研究を開拓すべく、日々切磋琢磨しています。

活躍する先輩たち

岡山大学歯学部卒業生は、さまざまな分野で活躍しています

昭和63年卒業 **松香 芳三**
徳島大学 大学院医歯薬学研究部
顎機能咬合再建学分野 教授



歯や歯質が欠損した後に実施する治療である歯科補綴（はてつ）学分野において、教育・臨床・研究を行っています。研究内容は多岐にわたります。口腔組織の再生・再建、口腔顔面痛、睡眠時歯ぎしり、歯科金属アレルギーなどです。岡山大学歯学部は私の出発地点であり、多彩なことを学ぶことができました。多くの皆様が岡山大学歯学部で楽しい学生生活を謳歌されることを希望しております。



平成元年卒業 **船橋 誠**
北海道大学大学院歯学研究院 口腔生理学教室 教授
北海道大学 脳科学研究教育センター 教授（兼任）

専門は悪心・嘔吐と摂食行動の神経生理学で、研究と教育に楽しく従事しています。岡山大学歯学部に入塾して後輩になる皆さんへ、北の大地からエールを送ります。

平成4年卒業 **犬飼(林崎) 順子**
愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生学科 学科長・教授



近年の医療・歯科医療の現場では、チーム医療が基本となってきました。歯科医師がかかわるチーム医療で最も近いのは、歯科衛生士との協働です。歯科衛生士は超高齢社会とともに国民の健康志向が高まり、その業務範囲も大きく拡大しています。歯科衛生士教育に携わることで歯科医師と歯科衛生士の架け橋となり、それぞれの専門性を生かせる社会に貢献できる喜びを感じながら、やりがいのある充実した毎日を送っています。歯科医師にも多様な働き方があります。岡山大学歯学部の皆さんも、広い視野を持って生きがいを見つけてください。

平成8年卒業 **西谷 佳浩**
鹿児島大学 学術研究院医歯学域（歯学系）
歯科保存学分野 教授
鹿児島大学病院保存科 診療科長



岡山大学歯学部を卒業後、岡山大学大学院に進学して歯科保存修復学分野に入局しました。う蝕治療に欠かせない新しい歯科材料の開発に興味があったので、大学院時代から現在まで夢を追いかける日々を送っています。この3年間はコロナ禍で日常生活に多くの制約があったことと思います。状況が変わりつつある中、ぜひとも岡山大学では自分の興味が持てることに邁進して、夢を追いかけください。皆さんが活躍される姿を拜見できることを楽しみにしています。

平成8年卒業 **恒石 美登里**
日本歯科総合研究機構 主任研究員



日本歯科医師会に設置された日本歯科総合研究機構で、主任研究員をしています。歯科医師を目指す方々にとって魅力ある歯科医療・口腔保健政策の維持・向上を目指し、最終的に国民の健康な生活の確保に少しでも貢献できればと考えています。

平成元年卒業 **山本 龍生**
神奈川歯科大学 副学長 大学院歯学研究所長
歯学部社会歯科学系社会歯科学講座 口腔衛生学分野 教授



2009年に岡山大学から神奈川歯科大学に赴任いたしました。岡山大学病院予防歯科で経験した歯科疾患予防を、国や国際社会の政策に結びつけ、「一生自分の歯で食べられる社会」を実現するために教育と研究を行っています。歯科医師の活躍の場は、臨床だけでなく、WHO、厚生労働省、都道府県などの行政機関もあります。歯科保健医療の政策に関わる歯科医師が増えることを願っています。

同窓会のご案内

大学と同窓会は車輪の両輪。連携と協調を礎に活動しています。卒業生にとって同窓会は“ふるさと”です。日本各地の同窓会県支部・地区支部が同窓生をサポートします。同窓会は、奨学金制度など在学生の福利・厚生も支援しています。



歯学部同窓会長
千原 敏裕
昭和63年卒業

学生たちを見守る温かい手

快適な学生生活を
力強くバックアップします。

学務課教務グループ（歯学部担当）

心と体の健康管理を
サポートします。

保健管理センター（鹿田室）

学生の国際交流・留学を
手厚く支援します

国際部（鹿田分室）



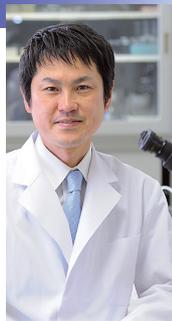
研究室紹介



口腔形態学

骨や歯を形づくる 細胞・組織の美しさを知る

形態学あるいは解剖学は、形・構造に着目して生体の営みを解明する生命科学の基礎をなす学問です。教育では、歯や歯周組織を含む全身の細胞・組織の微細構造と機能について講義と顕微鏡実習を担当します。研究では、骨や歯を構成する細胞・組織の発生メカニズムおよびホルモンや機械的刺激への応答について、光学顕微鏡・電子顕微鏡や最新の分子生物学的手法を用いて解析しています。骨や歯を中心とした細胞・組織の営みをミクロの眼で探求し、歯科領域疾患の病因解明や治療法開発の基礎を築くことを目指しています。

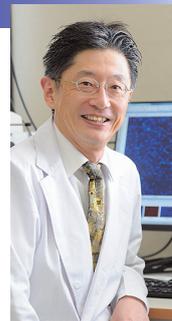


岡村 裕彦 教授
三重県立
宇治山田高等学校
平成4年卒業

口腔機能解剖学

口腔機能解剖学分野の仕事

顔は、消化器系の口・顎・顔面で構成し、呼吸器系の鼻、特殊感覚の味覚（口）・視覚（眼）・嗅覚（鼻）・平衡聴覚（耳）の窓口があります。口は、顎の骨・筋と舌筋、歯の協力で咀嚼し、顎下腺などの大唾液腺や口の粘膜と舌の中にある小唾液腺の唾液で消化・嚥下させます。また、口は、歯・口腔・鼻腔の協力で会話のための音をつくり出す（構音）。通常、口は閉じていますが、呼吸の補助としても機能します。私たちはこのような多種多様な器官が常態を制御するために、相互のネットワークをどのように機能させているかを探求しています。

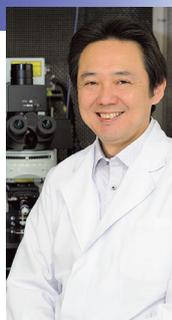


沢 禎彦 教授
北海道札幌西高等学校
昭和57年卒業

口腔生理学

口腔機能の解明から 健康長寿への道筋を開く

我々の体は様々な器官・臓器から構成され、また各器官は様々な細胞から構成されます。生理学では、分子、細胞、器官、個体レベルでの機能を追求するとともに、それらを統合するシステムも重要な研究対象です。当分野では、全身及び口腔に関する多彩な機能とその土台となる様々な機構を理解するための講義・実習を行っています。研究では、口腔機能としての味覚や唾液、摂食に関わる神経機構などを分子レベルから個体レベルに至るまで追求し、その理解に基づいた健康増進のための新たな方策を模索していきます。

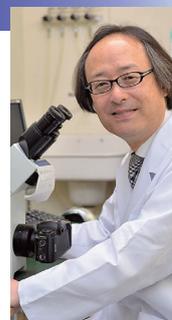


吉田 竜介 教授
京都府立
八幡高等学校
平成4年卒

口腔生化学

生命分子のネットワークを解明し 次世代の歯科医療に道を拓く

現代の生化学は、今や分子生物学、ゲノム学にまで広がる広大無辺な学問です。当分野では皆さんに生命の分子基盤とともに、歯科医療に特化した生化学を学べる講義を提供します。また、能動的学習プログラムである演習、先端技術であるDNA診断、遺伝子操作が体験できる実習も用意しています。研究面では世界有数のCCNファミリー分子研究の拠点として、グローバルに共同研究を続けています。この分子は様々な生体分子をネットワーク的に操り、組織再生、癌などの難病に深く関わる重要分子で、再生医療への応用もいま期待されているところです。



久保田 聡 教授
ヴィアートル学園洛星
高等学校
昭和55年卒業

口腔病理学

疾患を診る・病気の 原因とメカニズムの解明を目指す

人間は多種多様な病気に罹患しますが、病気の原因（病因）、病気の成り立ちと経過（病態）を知ることなしに治療は不可能です。病理学とは疾患の病因と病態を探究する学問で、患者が罹患している病気の診断（病理診断）を行う重要な役割を担っています。講義では身体に生じる様々な疾患について学び、実習では顕微鏡を用いて病変部組織を観察し理解を深めます。研究では口腔腫瘍の病態メカニズムの解明と口腔組織の再生に取り組んでいます。組織形態学と分子生物学的手法を元に幹細胞を用いた組織再生、腫瘍病態の研究を進めています。



長塚 仁 教授
開成学園高等学校
昭和56年卒業

口腔微生物学

微生物と身体のせめぎ合いを 分子レベルから追及する

我々は数多くの微生物に囲まれて生きています。有益な微生物も多いですが、一部の微生物は病原体として我々に感染症を起こします。歯科領域にも種々の感染症が起り、口腔内の代表的な感染症がう蝕や歯周病です。当分野では病原体となるウイルス、細菌あるいは真菌などの微生物、病原体から体を守る免疫をはじめとした防御機構、感染症が生じるしくみに関する講義や実習を担当しています。そして病原体の検出法や感染症の診断法の確立、抗微生物薬の開発、またワクチンを始めとする予防法の開発を目指した幅広い研究を行っています。

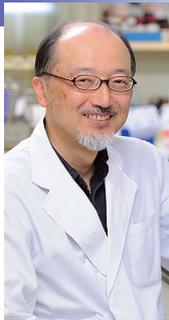


大原 直也 教授
大阪府立
市岡高等学校
昭和58年卒業

歯科薬理学

癌から骨疾患まで、 新薬創出を目指す！

薬理学は、薬物が生体へ及ぼす影響や効果を「薬の理（ことわり）」として分子レベルから個体レベルまで総合的に明らかにし、薬物療法の科学的な基盤を成す学問領域です。当分野では、将来、歯科医師として活躍するために必要な薬物療法の基礎知識だけでなく、医療現場で自らの確に判断し、安心・安全な薬物治療を提供できる歯科医師の育成を重視して教育に当たっています。また、癌や口腔領域における様々な疾患に対する新たな治療戦略の確立を目指した基礎医学研究および創薬研究を進めています。



岡元 邦彰 教授
宮崎県立
宮崎高等学校
昭和57年卒業

生体材料学

未来の歯科医療を見据え、 新しい材料、技術を創る

生体材料学分野では、歯科医療において重要な役割を担う医用材料、医用技術の開発を行っています。逆の観点でいうならば、新しい材料や技術を開発することで、新しい歯科医療を創ることができます。近年、材料工学に機械工学、電子工学、細胞生物学、分子生物学など様々な学問、知識を組み合わせることが進んでいます。その結果、これまでにない次世代の材料、技術の創出機運が高まっています。一緒に新しい歯科医療を創り、世界中の人々の幸せに貢献してみませんか？



松本 卓也 教授
高槻高等学校
平成元年卒業

応用情報歯学

医療情報を適切・有効に活用し、 歯科医学・医療の発展に寄与する

2017年、新規に設置された分野で、歯科医療情報学、医療経済学、医療倫理学、そして歯科法医学を担当しています。当分野は医療情報学と情報工学を駆使することで、歯科医療と歯学教育・研究における諸課題を解決し、その持続的発展に寄与することを目標としています。医療人として適切かつ高い倫理観を備え、さまざまな領域に応用可能な情報活用能力を身につけた医療人を育成します。また、近年、必要性が高まっている有事の歯科医療体制への協力や身元確認（歯科的個人識別）への協力を可能とすべく、人材育成と研究を行っています。



柳 文修 教授
兵庫県立
長田高等学校
昭和63年卒業

歯科保存修復学

接着、審美、再生歯学を 総合した歯科治療を目指す

歯科保存修復分野では、むし菌の治療を中心とした歯科保存修復学の教育、臨床、研究を担当しています。教育は、歯学部学生に歯科保存修復学の講義と、最新のシミュレーションシステムを使用した実習を行い、臨床実習を担当しています。臨床では、審美性修復材料による蝕治療や象牙質知覚過敏の治療、歯内治療、歯周治療などを行っています。研究としては、象牙質や歯髄を再生させる治療法を開発するとともに、歯に接着する審美性修復材料を用いた新しい蝕治療法の開発を行っています。



大原 直子 准教授
大阪府立
四條畷高等学校
昭和61年卒業

歯周病態学

「人材育成、社会に役立つ研究、 SoLAを目指す臨床」そんな想いで 活躍している研究室です。

口の中のバイオフィルム感染症（歯周病と歯内疾患）は、口腔のみならず全身の臓器に悪影響を及ぼします。私達は、「歯の保存」から「全身の健康」へと、歯周感染の病態や制御方法を教育・研究します。そして、広く医・薬・工・農学領域の研究者と連携し、多面的に口腔感染を制御します。さらに、地域の病院においても医科歯科連携医療を展開し、SoLA (Soft-Landing Aging) を目指した臨床・研究を実践して、生涯を支える医療人を育成しています。また、研究成果の社会実装を目指しています。詳細は、『岡山歯周病態学』で検索！



高柴 正悟 教授
広島県立
福山誠之館高等学校
昭和55年卒業

インプラント再生補綴学

臨床事実に基づき、 分子生物学的手法を駆使して 新しい歯科補綴学を切り開く

当分野は、インプラント義歯・クラウンブリッジ補綴学の講義、実習を担当しています。補綴学とは、歯や口の中の組織の欠損により喪失、障害した形態と機能の回復を目的とした学問ですが、我々は人工物で欠損回復してきた従来の手法を大きく改革し、バイオエンジニアリングを駆使して歯や口の中の組織再生を誘導する技術を開発すべく努力しています。また、顎関節症・口腔顔面痛、睡眠時無呼吸症候群などに対する先進的な治療法開発や、デジタル技術を統合した高度補綴治療、高齢者の栄養障害の問題解決などにも精力的に取り組んでいます。

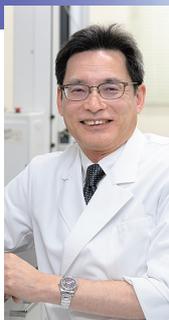


窪木 拓男 教授
岡山県立
井原高等学校
昭和55年卒業

咬合・有床義歯補綴学

超高齢社会に対して 先端歯科補綴治療を提供する

当分野では、歯の喪失に伴う咀嚼・発音・審美障害に対して総入れ歯や部分入れ歯を用いて機能回復するための講義と実習を担当しています。教育・診療の基盤となる研究ではバイオエンジニアリング技術を用いた組織再生技術、咬み合わせに伴う脳機能に関する研究、種々の口腔機能に関する研究、歯科治療材料に関する研究を行っています。これらの研究に基づいて、超高齢社会に対して先端的な歯科補綴治療を提供すべく、一般的な補綴治療に加えて、インプラント治療や構音障害の治療のほか、顎関節治療などにも取り組んでいます。

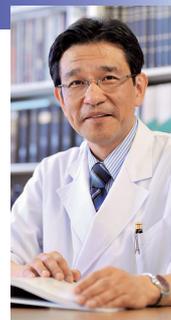


原 哲也 准教授
岡山県立
岡山大安寺高等学校
昭和55年卒業

歯科矯正学

審美、機能の両面からみた 最新の歯科矯正学を学ぼう

矯正歯科治療は歯並びを整えることによる機能的な問題の解決のみならず、患者さんの審美的な問題に対する要求を満たすことを治療目的としています。これを成し遂げるために、当分野では従来の矯正歯科治療法はもとより、歯科矯正用アンカースクリューや歯の裏側からの装置を用いた治療、骨延長術等を併用した最新の治療方法を用いて患者さんの様々なニーズに応える治療を行っています。また、「口唇裂・口蓋裂総合治療センター」を医科・歯科連携のもと設置し、患者さんの出生直後から成人までの長期間にわたる一貫した総合治療も行っています。



上岡 寛 教授
徳島県立
城ノ内高等学校
昭和58年卒業

顎口腔再建外科学

Oral Science の探求とそれに基づいた口腔外科医療の実践

咀嚼や嚥下、呼吸などの生命を維持する上で重要な機能を担う口腔は、歯を支える顎骨やその周囲の筋肉、神経など様々な器官が調和して、これら複雑な運動を行っています。そして、構成する各器官のそれぞれに多くの疾患（先天異常、発育異常、腫瘍、炎症など）が存在します。口腔外科学は、これら口腔に発生する様々な疾患の治療を行う分野で、われわれ顎口腔再建外科学は、特に、機能や形態の復元・再建に専門性を置いた臨床分野です。こういった疾患は、すべて生命科学を基礎とした知識をもとに診断・治療が行われますが、当教室ではそれら口腔に関わる科学 (Oral Science) を探求することを目標とし、これら科学的見識を備えて、幅広く活動できる歯科医師を育成することに力を注いでいます。



飯田 征二 教授
奈良県立
奈良高等学校
昭和 54 年卒業

口腔顎顔面外科学

口腔外科の最後の砦となる

口腔外科の「最後の砦」病院としての責任を果たすためには、口腔外科医として手術技量を高めるだけではなく、新規治療法を研究開発する必要があります。当分野では口腔癌の治療を専門としており、新規口腔癌バイオマーカーの検索や AI を用いた口腔癌の転移予測、顎変形症患者の顔貌の形態学的分析を行っています。また基礎疾患患者の病棟管理や口腔粘膜疾患の診断も経験でき、海外留学、がんセンターへの国内留学、救命救急センター研修など多彩なキャリアプランを用意しています。あなたも口腔外科医としての第一歩を踏み出してみませんか？



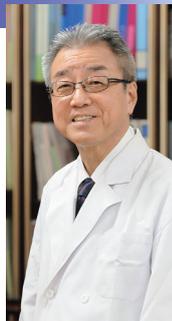
伊原木 聡一郎 教授
岡山高等学校
平成 9 年卒業

歯科放射線学

画像診断・口腔癌保存治療をテーマに歯科放射線の分野を切り開く

当教室は、歯科放射線学の講義と実習を担当しています。診療にはまず診断が必要であり、診断の中で画像診断は非常に大きな比重を占めます。医用画像機器の種類の豊富さと質の向上は目覚ましいものがあり、これらの機器を理解し、活用できるよう指導します。また、審美性と機能性の保全のために口腔癌の小線源放射線治療も行い、口腔癌の保存の治療を目指しています。

研究では、病変内の経時的血行動態を把握できるダイナミック MRI によって、口腔病変の非観血的な質的診断能の向上を目指しています。分子イメージングおよび個人識別に関する研究も進めています。



浅海 淳一 教授
愛媛県立
今治西高等学校
昭和 52 年卒業

予防歯科学

Health promoter を育成し、健康社会の実現に貢献

目の前にいる患者さんを救うことは当たり前です。他に大切なのは予防です。さらに大切なことは、個人だけでなく、集団を対象とすることです。世界中の人々に応用できる予防法は何かを一緒に考えてみませんか。

講義と実習を通じて、「歯科疾患の予防に何が足りない?」、「健康に及ぼす環境問題は何か?」、「同じ国で生まれたのに、なぜ健康格差があるのか?」などをマクロとミクロの視点から考察し、「流れ」を掴み、健康増進に寄与できる歯科医師を育てます。そして、フィールドワークも行いながら、健康社会の実現に貢献していきます。



江國 大輔 准教授
岡山県立
岡山大安寺高等学校
平成 4 年卒業

小児歯科学

子どもたちの健全な口腔内環境作りを目指した小児歯科医療

小児歯科学分野では、成長発育に伴い変化する口腔内環境を健全な状態に保つための歯科疾患の予防と治療についての知識と技術を学びます。

小児歯科におけるゴールは健全な永久歯列の完成です。乳歯列から永久歯列へと長期間にわたり、むし歯の治療、外傷歯への対応および歯並びに関する咬合誘導を習得します。研究面では、むし歯の原因菌に関する分子生物学的研究を中心に行っています。特に口腔内バイオフィーム（デンタルプラーク）の形成メカニズムの解明に取り組んでいます。



仲野 道代 教授
山口県立
宇部高等学校
昭和 61 年卒業

歯科麻酔・特別支援歯学

支援を必要としている人たちに安全・安心・快適な歯科医療を

超高齢社会です。高血圧、心疾患、糖尿病などの病気を持った患者様が増えてきました。このような患者様に安全、安心、快適な歯科治療を提供すること、さらに、医療支援を必要としている人たちが、その地域で十分な歯科治療を受けることができるような、成熟した地域医療システムを構築することがますます重要になってきています。

当分野は、歯科治療時の「安心」・「安全」・「快適」を科学する歯科麻酔学と「スペシャルニーズ歯科センター」と連携した特別支援歯学を専門とする臨床歯学研究分野です。



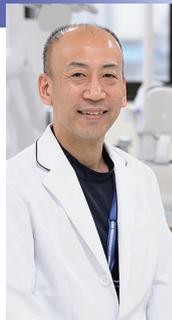
宮脇 卓也 教授
兵庫県立
小野高等学校
昭和 55 年卒業

総合歯科学

プライマリ・ケア歯科医療の発展に寄与する

人生100年時代を迎え、口腔疾患から全身への影響が目されるなか、歯科医療の専門性と多様性の両立が求められています。つまり、外来での高度な専門医療のみでなく、地域における救急医療、基礎疾患を有する高齢者への在宅医療、行政やコメディカルとの連携など、分野横断的な問題に対して、総合的診断に基づいた歯科治療を行う必要があります。

総合歯科学分野では、地域のプライマリ・ケア歯科医療の発展に寄与するために、診断ツールや新規材料の開発、そして臨床教育に関する研究などを他研究分野と共同して行っています。



山本 直史 教授
兵庫県立
長田高等学校
昭和 63 年卒業



サークル紹介

鹿田空手道部

鹿田空手道部は、月・水・金曜日の18時～20時に鹿田キャンパスの武道場で練習しています。空手道部と聞いて、経験者が多いのではないかと思います。大学から新しいことを始めたい人にお勧めです。また、土日祝は部活が休みなので、勉強やバイトの両立も心配ありません。さらに昨年度からは、マスクの着用、換気、練習メニューの見直しなどの感染症対策も行っています。少しでも空手に興味のある方は、ぜひ気軽に武道場に足を運んでください!!



鹿田美術部

鹿田美術部は、鹿田祭や病院展示に向けて、絵画・イラスト・アクセサリ・デジタルアートなど、様々な作品を制作しています。感染症対策として、部室の換気や画材の消毒を徹底しています。兼部可能&必須参加のイベントはありません!自分のペースで製作を進められる、自由度の高い部活です。筆やペン、コピックなど、画材もレンタル可能なので、最初は何も持っていないでも大丈夫です。新しいことに挑戦したい方、美術部に興味がある方、ぜひ部室に遊びに来てください!



歯学部バドミントン部

歯学部バドミントン部は週3回、津島清水記念体育館で活動しています。感染症対策を図りながら、部員約30名がそれぞれの目標に向かって励んでいます。練習間にイベントを設けて、競技の枠を超えた学年間での交流も大切にしています。夏の大会のオールデンタルは惜しくも3年連続中止となりましたが、部員皆が「バドミントンが好き、上手になりたい」という思いで大会に備えて日々鍛錬しています。初心者大歓迎です!魅力に溢れた部活ですので、興味のある方はぜひ足を運んで下さい!私達と一緒に爽やかな大学生活を送りましょう!



DMC

DMCは鹿田唯一のダンス部で、週2回2時間活動しています。大学からダンスを始めた人も多いので敷居も低く、初心者はもちろんのこと、楽しく踊りたい人、K-POPが好きの人など、誰でも大歓迎です!コロナ禍でもマスクの着用などの感染対策を徹底し、部内だけのイベントを開催するなど、練習の成果を披露する機会も設けており、部員同士でもチベーションを高めている、活気に満ち溢れた部活です!「キラキラで充実した大学生活」を送りたい方、是非DMCへ!



OSAL

Okayama Save a Life、略してOSALです。私たちは、講義やディスカッションを通して救急救命を深く学んだり、CPR(心肺蘇生法)・気管挿管・注射のやり方・外科結びといった臨床実技の練習をしたりしています。多くの方が緊急時にCPRを行えるよう、学内外の方にCPRを普及させるボランティアも行っています。救急救命に興味のある方、入学してすぐ臨床実技を学びたい方、是非OSALへ!!



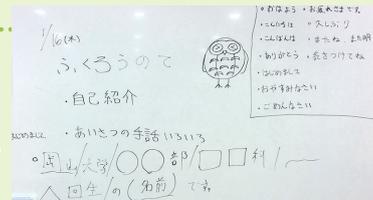
鹿田写真部

鹿田写真部では、部会や撮影会、展示会などを行っています。木曜日の19時～20時の部会では、撮った写真を見せ合ったり、カメラの知識や写真の撮り方などを紹介したりしています。また、月1回程度、希望者で撮影会をしています。後楽園や美観地区などの様々な観光地を回ったり、冬にイルミネーションを撮影したりと、楽しい活動が盛りだくさんです!夏休みには学外の施設を借りて、撮った写真の展示会も開いています。初心者が多く、最初はカメラを持っていなくても大丈夫です!ぜひ部会に遊びに来てみてください!



鹿田手話同好会 ふくろうのて

鹿田ふくろうのては、手話の習得を目標に2022年に活動を開始し、週に一回活動しています。これを聞くと難しそうに聞こえますが、実際はみんなでゆるゆると手話を使ってコミュニケーションを楽しむサークルです。ミニゲームや手話歌など毎週いろいろな活動を通して手話を学んでいます。手話検定を受ける人もいたり、検定前にはみんなで特訓したりもします。只今、活動内容を模索中…(やりたいことがあればじゃんじゃん言ってください!)初心者でも経験者でも大歓迎!ぜひ一緒に手話ベリ(手話でのおしゃべり)をしましょう!



歯学部弓道部

歯学部弓道部は、医学部弓道部と共に『鹿田弓道部』として活動しています。自主練習を主体とし、試合前には強化練習で団結を強めます。部員の殆どが大学から弓道を始めた初心者ですが、練習を積み、さまざまな試合で好成績を残しています。最近はオンラインで開催される試合も多かったのですが、コロナ前と同様に対面で開催される試合も増えてきており、感染対策を徹底した上で活動を行っています。弓道の格好良さに引かれた方、もつと弓を引きたい経験者の方、是非弓道場に来てみてください。部員一同、心よりお待ちしております。



歯学部硬式庭球部

歯学部硬式庭球部は月曜日、木曜日(稀に水曜日)、土曜日の週3回活動しています。大学からテニスを始めた部員も多いため、未経験者の方でも安心して始められます。例年、夏に開催されるデンタルという大きな大会に向けて日々練習を行っています。デンタルでは他の大学と熱い試合を繰り広げ、仲間との友情、テニスへの情熱を燃やし、最高の夏の思い出になることでしょう。是非、皆さんと一緒に私達とテニスを楽しみましょう。



鹿田茶道部

鹿田茶道部は、歯学科・医学科・保健学科の学生が所属する部活動です。毎週火・金曜日に部室で茶道の稽古を行っています。例年は季節ごとに茶会を開催していましたが、コロナ禍により開催できていません。その中でも先輩から伝統を受け継いで、日々の稽古に励んでいます。そのほか、9月に「ものづくり」という行事を行い、茶道に関する道具作りを体験します。初心者の方でも歓迎です。ぜひ一緒に茶道を楽しみましょう。



医学部・歯学部漕艇部

こんにちは！ボート部です!!この部活は大学では珍しい朝の活動です。活動頻度は、オンシーズンは週に3回、オフシーズンは週に1回となっています。季節で活動内容や頻度が異なることもあってか、部員の切り替えの素早さが我が部の誇りです。学校が終わった後は自由です！バイトに遊びに勉強に、部員もそれぞれ自由に過ごしています。

最後に、ボートは機会がなければ一生出会うことのない競技です！部員もほとんどが大学でボートに出会いました。魅力あふれるボート部に！見学、試乗会の参加お待ちしております。



鹿田水泳部

こんにちは、鹿田水泳部です！水泳部は日火木の週3日、夏は大学のプールで、それ以外の時期は近くの温水プールで練習しています。医歯保の3学科すべての学生がバランスよく所属していて仲良く練習を頑張っています！夏のオールデンタルという大会に向けて練習していますが、それ以外にも医学部の部員とともに出場する大会や記録会がたくさんあり、とても達成感を感じることができます！鹿田水泳部は未経験者で入部した部員がたくさんいるので、経験者はもちろん未経験者やマネージャー志望の方もぜひ見に来てください！



歯学部準硬式野球部

歯学部準硬式野球部は、火・木・土曜日の週3回、鹿田のグラウンドで活動しています。野球部と聞いて練習がきつい、上下関係が厳しい、初心者だと難しい、などと感じている人も多かもしれませんが、しかし、練習では部員それぞれが伸び伸びと活動し、先輩・後輩関係なく和気あいあいとして楽しい雰囲気となっています。初心者の方でも問題なく活動でき、即戦力間違いなしです。少しでも興味のある方、楽しく野球がしたいと思っている方は、ぜひ部活に足を運んでみてください！大歓迎いたします。



●サッカー部 ●卓球部 ●ボウリング部 …… 他

交通アクセス

岡山駅まで JR 利用

- ▶ 新大阪から新幹線で約47分
- ▶ 神戸から新幹線で約31分
- ▶ 広島から新幹線で約34分
- ▶ 高松からJRで約1時間

岡山駅から

- ・岡山駅後楽園口(東口)バスターミナルから「12」「22」「52」「62」「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- ・岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バス「大学病院」行きが構内に入ります(地図内---線) 他・岡電バス
- ・岡山駅前から循環バスで「大学病院入口」下車
- ・岡山駅前タクシー乗り場からタクシーで約10分
- ・岡山駅前から「清輝橋」行き路面電車で12分「清輝橋」下車、西へ徒歩5~10分

岡山桃太郎空港から

- ・「岡山市内方面」行バスに乗り、「岡山駅」で下車、岡山駅からは上記交通機関を利用

岡山まで山陽自動車道利用

- ・岡山ICで降り岡山市内方面へ、または、早島ICで降り岡山市内方面へ



わたしの岡大ライフ

1 年次生 忙しいけど自由度が増した生活 …… A さんの場合 【自宅通学】

1 年次では、教養教育科目は津島キャンパスで、専門科目は鹿田キャンパスで、講義を受けます。レポートなどの課題が多くあり、忙しい日々を送っています。大学生活に慣れて余裕ができれば、アルバイトを始めたいと思っています。今は入学したばかりで分からないことが多いですが、先輩や学務部の方に聞いたり、友達と協力したりして、頑張っています。授業が早く終わる曜日もあるので、そのような日には友達とカフェに行ったり、駅地下で服を見て回ったりすることもでき、楽しい毎日です。勉強を頑張りつつ、色々なことをして大学生生活を楽しみたいです。

- 通学時間／50分（電車・ももちゃり）
- サークル／なし

| 収入の部 | |
|------|---------|
| 奨学金 | ¥0 |
| バイト代 | ¥0 |
| 仕送り | ¥0 |
| その他 | ¥10,000 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥0 |
| 光熱費 | ¥0 |
| 食費 | ¥0 |
| 通信費 | ¥1,500 |
| 交通費 | ¥6,500 |
| 貯蓄 | ¥0 |
| その他 | ¥2,000 |

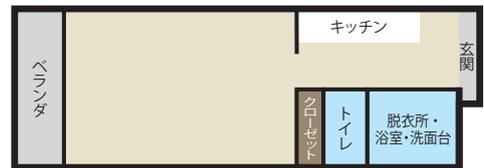
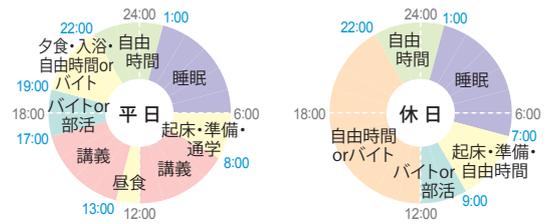


2 年次生 目指せ充実した大学生生活 …… B さんの場合 【自宅外通学】

鹿田キャンパスの近くで一人暮らしをしています。ほとんどの授業が対面で実施されているだけでなく、専門科目の授業が1年次と比べて多くなっているため、規則正しい生活をするよう心がけています。また、2年次からは教科書などの出費が増えていくので、貯金も定期的に行っています。大学生生活が始まって1年になりますが、まだ勉強と部活動やアルバイトの両立が難しいと感じる時があるので、今年度はそれらを両立できるよう頑張り、自由時間を趣味にあてる充実した大学生生活を送っていきたくと思います。

- 通学時間／5分（自転車）
- サークル／あり

| 収入の部 | |
|------|---------|
| 奨学金 | ¥50,000 |
| バイト代 | ¥60,000 |
| 仕送り | ¥40,000 |
| その他 | ¥0 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥42,000 |
| 光熱費 | ¥10,000 |
| 食費 | ¥20,000 |
| 通信費 | ¥5,000 |
| 交通費 | ¥0 |
| 貯蓄 | ¥60,000 |
| その他 | ¥13,000 |

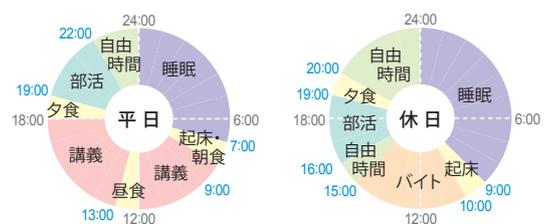


3 年次生 より専門的な学習へ …… C さんの場合 【自宅外通学】

2 年次までは、一般教養科目と専門科目の両方を受講していましたが、3 年次からは専門科目だけとなります。そのため日常の講義に対する予習復習や、試験勉強にかかる時間が多くなっていくため、アルバイトの時間などは減っていきそうです。そのなかでも、休み時間での同級生との交流や部活動での先輩・後輩との交流を大切にしていきたいです。勉強を頑張ることはもちろん、大学生として様々な経験をしていきたいです。

- 通学時間／5分（自転車）
- サークル／あり

| 収入の部 | |
|------|----------|
| 奨学金 | ¥0 |
| バイト代 | ¥60,000 |
| 仕送り | ¥100,000 |
| その他 | ¥0 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥58,000 |
| 光熱費 | ¥9,000 |
| 食費 | ¥25,000 |
| 通信費 | ¥3,000 |
| 交通費 | ¥0 |
| 貯蓄 | ¥35,000 |
| その他 | ¥30,000 |



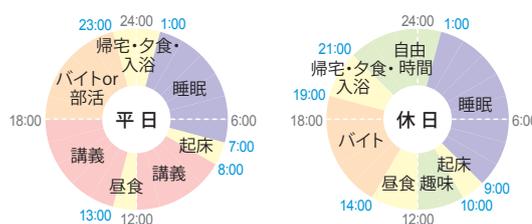
4 年次生 充実した学生生活 …… D さんの場合 【自宅外通学】

鹿田キャンパスから自転車ですぐのところまで一人暮らしをしています。

1、2年生のころはオンライン授業だったこともあり、アルバイトや部活中心の生活を送っていました。3年生になって授業時間が長くなり自由に使える時間も少なくなってきましたが、休みの日は趣味に時間を使ったり、友達と過ごしたりと、充実した生活を送っています。勉強、部活動、アルバイトの並立は大変ですが、工夫しながら日々の生活を楽しみながら過ごしたいと思います。

- 通学時間 / 5分 (自転車)
- サークル / あり

| 収入の部 | |
|------|----------|
| 奨学金 | ¥ 50,000 |
| バイト代 | ¥ 90,000 |
| 仕送り | ¥ 35,000 |
| その他 | ¥ 0 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥ 60,000 |
| 光熱費 | ¥ 10,000 |
| 食費 | ¥ 30,000 |
| 通信費 | ¥ 5,000 |
| 交通費 | ¥ 0 |
| 貯蓄 | ¥ 20,000 |
| その他 | ¥ 50,000 |

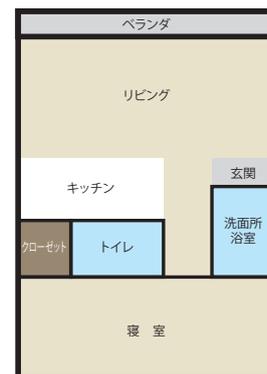


5 年次生 1 年前とは違う高学年生の生活 …… E さんの場合 【自宅外通学】

5年生になると講義は朝から夕方まであり、空きコマや早く帰れることはこれまでと比べて大幅に減ります。また、平日にアルバイトをすることは難しく、休日や週末にCBTやOSCEのための勉強と両立しながら、少ししかできなくなります。少ない空き時間でレポートや実習の予習をして、効率よく時間を過ごすことが大切になってきたと感じました。忙しい中でも放課後や休日に友人と遊びを兼ねて一緒に勉強することも、息抜きになるので良いと思います。一人暮らしは生活習慣が乱れやすいので、意識的に健康的な食事を摂り体調管理にも気をつけています。

- 通学時間 / 5分 (自転車)
- サークル / あり

| 収入の部 | |
|------|----------|
| 奨学金 | ¥ 0 |
| バイト代 | ¥ 40,000 |
| 仕送り | ¥ 90,000 |
| その他 | ¥ 0 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥ 70,000 |
| 光熱費 | ¥ 10,000 |
| 食費 | ¥ 30,000 |
| 通信費 | ¥ 0 |
| 交通費 | ¥ 0 |
| 貯蓄 | ¥ 0 |
| その他 | ¥ 20,000 |



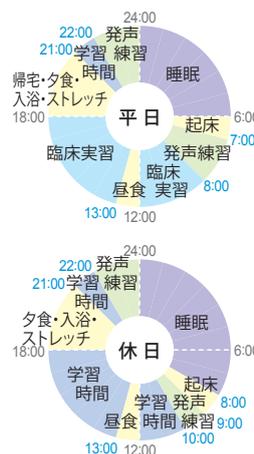
6 年次生 I'm in a 歯ニック …… F さんの場合 【自宅通学】

病院で実際の患者さんに接する臨床実習が、平日の大半を占めています。さらに、日々の課題に、勉強にと、忙しい日々を過ごしています。大切なのは生活リズムを確立すること、そしてストレスをため込まないことです。毎朝1時間、就寝前に2時間の発声練習の時間を設け、ストレスを発散しています。実家暮らしですが、家族や近所の方の理解もあり、成り立っています。

大きな声を出すことはストレス発散だけでなく、「明日からも頑張るぞ」という気分転換にも繋がります。自分の機嫌を自分で取りながら、毎日ひたすらに頑張っています。

- 通学時間 / 20分 (自転車)
- サークル / なし

| 収入の部 | |
|------|----------|
| 奨学金 | ¥ 0 |
| バイト代 | ¥ 0 |
| 仕送り | ¥ 0 |
| その他 | ¥ 40,000 |
| 支出の部 | |
| 家賃 | ¥ 0 |
| 光熱費 | ¥ 0 |
| 食費 | ¥ 0 |
| 通信費 | ¥ 0 |
| 交通費 | ¥ 0 |
| 貯蓄 | ¥ 0 |
| その他 | ¥ 40,000 |





SHIKATA CAMPUS

鹿田キャンパスは、歯学部、医学部および薬学部の一部からなる医療系キャンパスです。

明治3年（1870）岡山藩医学館に始まる歴史あるキャンパスで、大正時代の赤れんがの医学部正門など、当時を思わせる建築物も多く点在しています。

岡山市中心部にあり、交通の便もよく周囲には大型スーパーや飲食店などもたくさんあり、生活しやすい立地です。



8 グラウンド

鹿田キャンパス



① 歯学部棟・外来診療棟

この建物では歯学部の授業が行われる他、岡山大学病院・歯科の外来診療棟を兼ねており、1日平均650人以上の患者さんが診療に訪れます。

③ 歯学部・岡山大学病院正門



患者様を含めて、とても多くの人が入り出る門です。構内へのバスも通ります。

④ 医学部正門



赤煉瓦の医学部正門は、大正11年岡山医科大学が設立した頃のもので、岡山藩医学館を起源とする歴史を感じさせます。



鹿田キャンパスも津島キャンパスも、キャンパス敷地内は建物内外を問わず全面禁煙です。

キャンパス紹介



交通アクセス



5 記念会館

記念会館には、食堂や大学生協のコジカショップ、保健管理センター（鹿田室）等が入っています。コジカショップでは、医歯学系の専門書やパソコン用品もあります。

6 医歯薬融合型教育研究棟

法医学解剖関係施設、共同実験室、医歯薬各分野の研究室・演習室やチーム医療シミュレーション教育、臨床能力のスキルアップのための設備を整備した医療教育統合開発センター等が入る医・歯・薬学の専門知識を集結した学際的研究・教育施設です。（生体材料学分野が配置されています。）



7 附属図書館鹿田分館

中央、鹿田分館合わせて200万冊を超える図書と4万種の雑誌、様々な電子資料及び映像音響資料を所蔵。情報化、国際化、生涯学習に対応した開かれた大学図書館としてサービスを提供しています。新装後はカフェテラスも設置され、ますます利用しやすくなりました。



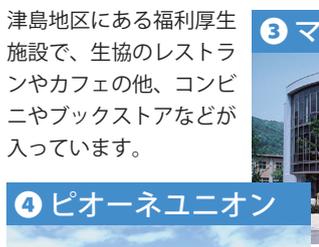
1 一般教育棟

医学部・歯学部 of 学生も教養教育科目はここで受講することになります。学生支援センターや国際センターなどもこの建物の中にあります。



2 大学会館

喫茶コーナーやラウンジ、カフェの他、課外活動施設にはホールや各種集会所があり、サークル活動等に活用されています。



3 マスコットユニオン

津島地区にある福利厚生施設で、生協のレストランやカフェの他、コンビニやブックストアなどが入っています。

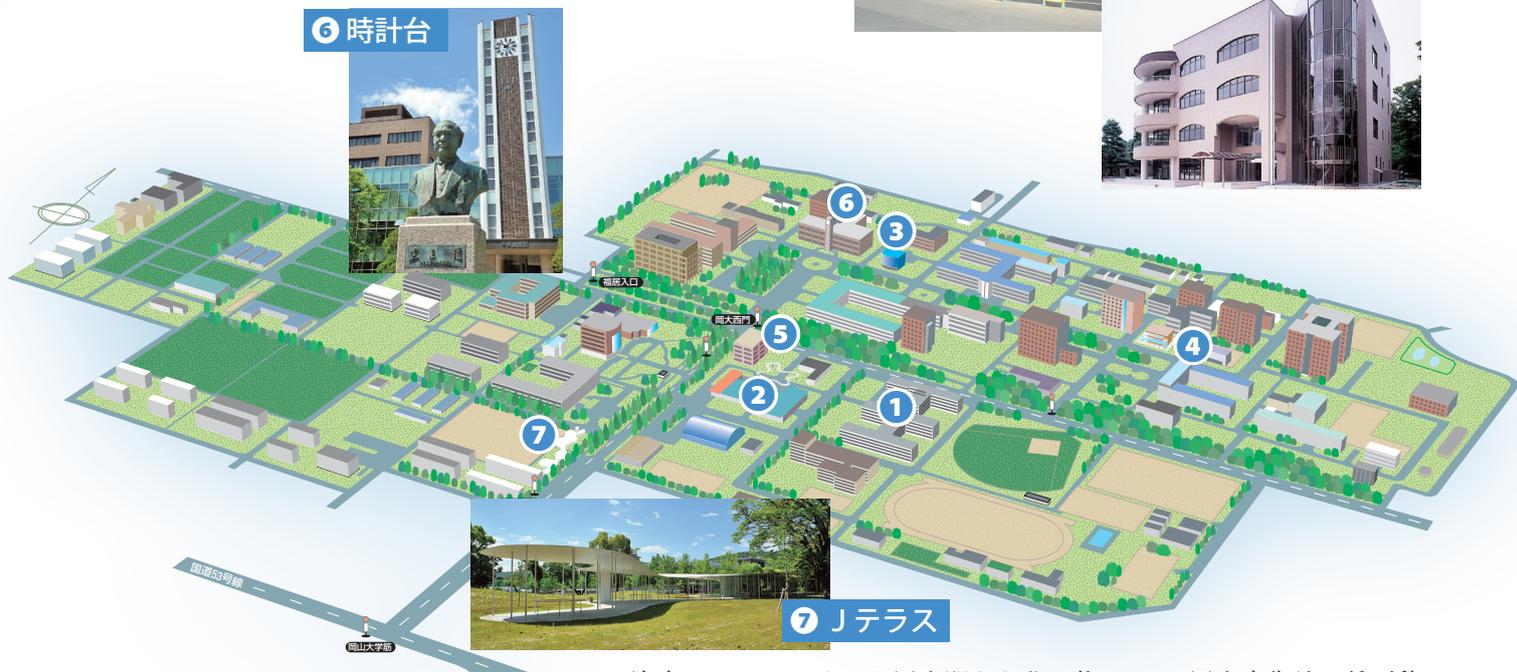


4 ピオーネユニオン



5 ピーチユニオン

6 時計台



7 Jテラス



津島キャンパス

津島キャンパスは、JR岡山駅から北に約2.5km、岡山市街地に総面積635,308㎡の自然豊かな広大な敷地に、8学部と研究施設、附属図書館中央館、テニスコート・野球場・陸上競技場等の体育施設、食堂・カフェテリア・コンビニ等の生協施設などが整備されています。

大学へのメインストリートの南北道路（岡山大学筋）は、附属図書館の時計台を正面に、左右のいちょうの並木道が岡山大学へと誘ってくれます。

TSUSHIMA CAMPUS

病院紹介

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる 岡山大学病院（歯科）



歯科系代表副病院長
窪木 拓男 教授
岡山県立井原高等学校
昭和55年卒業

“高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる”は、岡山大学病院の理念です。岡山の土地柄にとっても合っています。

岡山大学病院は、医学部の附属病院として150年にわたる歴史と伝統を有している国内屈指の大学病院です。中国・四国地区で唯一の臨床研究中核病院に選定されており、全国的にも有数の先進的医療の要となっています。歯科系におきましても中国・四国を中心に多くの関連病院があり、広く医療に貢献しています。

岡山大学病院の中で歯科系は、4診療科の中に12の診療部門専門と、スペシャルニーズ歯科センターおよび医療支援歯科治療部など、歯科特有の中央施設また医科と連携したセンターがあります。さらに、専門外来が12あり、全国でも有数の充実した診療体制を整えています。特に、病院が医科と歯科が統合している利点を活かし、教育、研究、および診療の分野で医科との連携が非常に強くなっており、それが岡山大学歯学部の特徴のひとつになっています。

このような充実した診療体制のある病院で、歯学部の学生の皆さんは1年次に早速、“早期見学実習”という科目で、臨床の現場に触れながら勉強することができます。5～6年次には、“診療参加型臨床実習”という科目で、教員の指導のもと“Student Dentist”として患者さんと接しながら、歯科医師になるのに必要な実践力を習得します。岡山大学ではこの臨床教育に力を入れており、この中では“在宅・訪問歯科診療実習”もあり、社会の高齢化の進展に対応できる臨床能力を涵養するためのカリキュラムが組まれています。卒業後の卒後研修体制も岡山大学病院は大変充実しており、多くの学生がそのまま岡山大学に残って研修をしています。

岡山大学で実践力を身に付け、高度な技術を学び、そして医科とも連携できる優れた歯科医師となって、社会に貢献しましょう！

診療科等案内

歯科

- 総合歯科部門
- 保存歯科部門
- 歯周科部門
- 口腔インプラント科部門
- 補綴歯科部門
- 予防歯科部門
- 歯科放射線科部門
- 歯科麻酔科部門

口腔外科

- 顎口腔再建外科部門
- 口腔顎顔面外科部門

矯正歯科

小児歯科

スペシャルニーズ歯科センター

- 特別支援歯科部門
- 摂食・嚥下リハビリテーション部門

卒後臨床研修センター（歯科研修部門）

医療支援歯科治療部

- 高度医療支援歯科部門
- 周術期管理歯科部門

歯科総合診断室（予診室）

歯科地域医療支援室

専門外来

- 顎関節症・口腔顔面痛み外来
- 審美歯科外来
- 特殊義歯外来
- スポーツ歯科外来
- 顎顔面補綴外来
- 口のかわき・味覚外来
- 歯科金属アレルギー外来
- 口臭外来
- 口腔がん外来
- 夢の会話プロジェクト外来
- 母と子の歯科外来

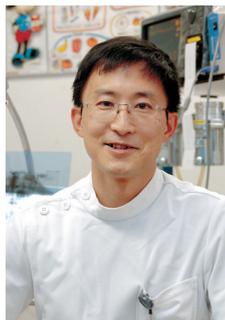
診療科連携部門（センター）

- 小児頭蓋顔面形成センター
- 頭頸部がんセンター
- 小児医療センター
- 口腔検査・診断センター
- 成人先天性心疾患センター
- 口唇裂・口蓋裂総合治療センター
- 侵襲性歯周炎センター
- デンタルインプラントセンター
- お口の健康管理センター





地域の障害児者、高齢者の口腔の QOL 向上に貢献



江草 正彦 スペシャルニーズ歯科センター センター長・教授
(岡山県立岡山大安寺高等学校 昭和56年卒業)

スペシャルニーズ歯科センターは、身体的、精神的、そして心理的に種々の障害や疾患のある歯科に「特別に支援の必要な人」に対して、ケア・ケア・リハビリテーションを医療・保健・福祉などの他の領域とも連携して行っています。また、地域で生活する乳幼児から高齢者まで、多くの人々に対するシームレスケアの実現に向けたシステム作りをめざしています。

当センターには、特別支援歯科治療部門（障害児者歯科治療）と摂食・嚥下リハビリテーション部門があります。特別支援歯科治療部門では、歯科麻酔科との連携によって、中四国地方では数少ない全身麻酔・静脈内鎮静法等での障害者の歯科治療を行っています。また、自閉症関連では世界的に有名な TEACCH プログラムによる行動療法なども実践しています。

また摂食・嚥下リハビリテーション部門では、医科からの紹介患者（乳幼児から高齢者まで）も多数で、医科歯科連携の要の一つになっています。家庭や学校で家族や友達と一緒に食事を食べたい、自分の口から美味しさを味わいながら食べたいと、摂食・嚥下機能に障害のある誰もが望んでいます。当部門では、障害のある人を中心とした口腔領域の医療・保健とその家族を含めた食生活の支援も行っています。



▲摂食・嚥下リハビリテーション



▲外来での全身麻酔下歯科治療

医療支援歯科治療部の紹介



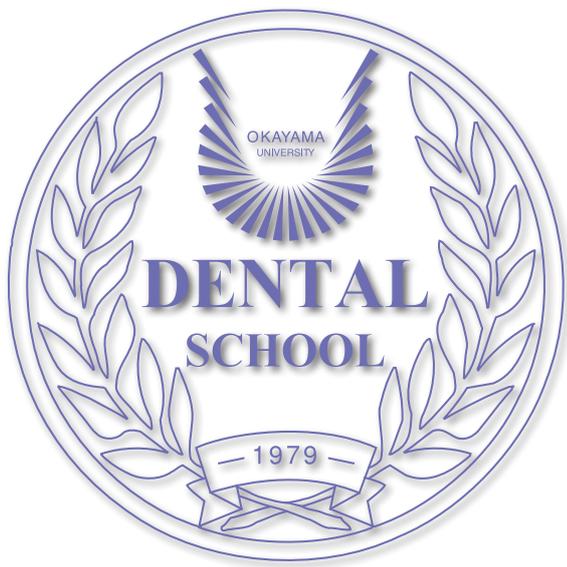
曽我 賢彦 医療支援歯科治療部 部長・准教授
(滋賀県立彦根東高等学校 平成4年卒業)

歯科医師の専門性は、病院医療の意外なところで驚くほど役に立ちます。岡山大学病院では高度な医療が日々展開されています。その中には、口の中の適切な管理が不可欠なものが少なくありません。臓器移植医療に伴う免疫抑制状態や、がん治療（とりわけ白血病等の血液悪性疾患）そして心臓血管外科の手術などでは、口の中の感染対策や経口栄養摂取のサポートが極めて重要です。私たちは、本院で行われる高度な医療を歯科の専門性からサポートする医科歯科連携の拠点として、歯科系の多くの科の応援歯科医師や歯科衛生士等とともに活動を展開しています。広い見識をもった医療人を育成するため、この医療連携の場を学生の間から積極的に知ってもらい、若い豊かな感性に何か良い影響を与えることができればと考えています。

医療現場の一線で活躍する医師などのスタッフと歯科医師が協働する姿を目の当たりにし、歯科医師が医療を構成する一員であることを身を持って感じることができると感じています。楽しいですよ！



▲ICU での口腔ケア



岡山大学

岡山大学歯学部

〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
学務課教務グループ（歯学部担当）

TEL : 086-235-6627 FAX : 086-235-7552

URL : <https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

岡山大学歯学部広報委員会編集

